

# 総合図書館 清教リブラリア

## 2019 年度 事業報告

- ・新型コロナウイルスの影響甚大：3月休館・卒業論文発表会中止
- ・貸出冊数約 7500 冊の減少
- ・私学教育研究所委託研究終了
- ・小学生向け「夏休み調べ学習教室」初の開催

清教学園中・高等学校 図書館教育

2020年6月17日

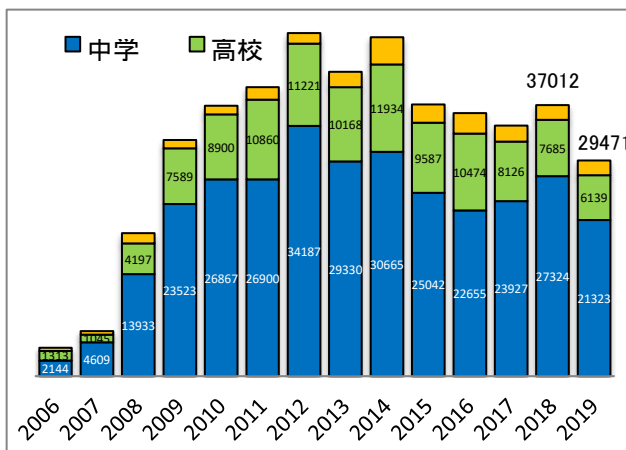
# I トピックス

## 新型コロナウイルスの影響甚大：3月休館・卒業論文発表会中止

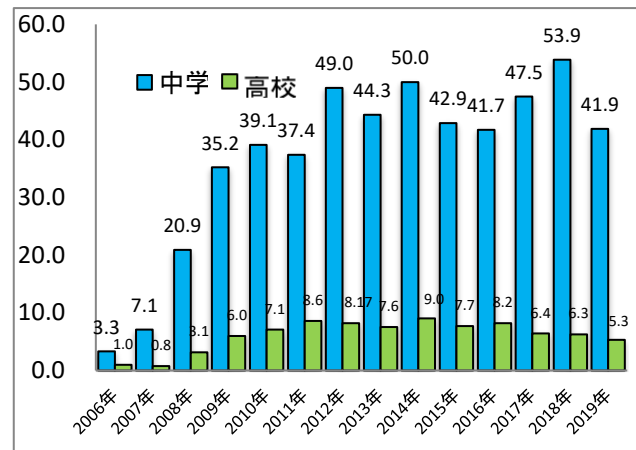
世界で感染が広がった新型コロナウイルス(COVID-19)は、2020年2月頃より大阪でも感染が拡大し、3月3日より清教学園中・高等学校でも休校措置がとられました。リブラリアもこの時から生徒向けの貸出を中止せざるをえなくなる、異例の状況に陥りました。このため年間の開館日数が21日減少しました。同時に、3月9日に予定されていた総合的な学習の時間における、中3の卒業論文「なんでやねん」の発表会も延期に追い込まれました。各方面と調整し新年度の4月14日に発表会が企画されましたが、この企画もコロナ禍の前に潰え、発表会は中止に追い込まれました。

## 貸出冊数約7500点の減少

2019年度は貸出点数が減少しています。まず、総貸出点数が7541点の減少です。一人当たりの貸出点数でみると、中学生で年間12.0冊、高校生で1.0冊減少しています。中学生では3年ぶりの、高校生では10年ぶりの低水準にとどまりました。これらの要因についてはVIの課題に譲るとして、明らかなのは新型コロナウイルスによる約1カ月(21日間)の休館です。



年間総貸出点数の推移



中高生ひとりあたりの年間貸出数の推移

## 私学教育研究所委託研究終了

私学教育研究所から委託を受け調査・研究を行いました。題名は「『主体的・対話的で深い学び』を通じ、生徒の賜物を育む探究学習の教育効果に関する研究：『卒業論文』を振り返る、15歳から28歳へのアンケート調査」です。自身が決めたテーマで卒業論文に取り組む探究的な学びが、学習者にどう影響を与えるか、を中心的な問題意識としています。

具体的には、論文作成者への振り返りアンケート調査をもとに、探究学習の長期的な教育効果の検証を行い、616名(15歳～28歳)から回答を得ました。その結果、自らテーマを決める学びと、彼らの進路や自己形成、学習観等の結びつきが明らかになりました。探究的な学びの効果が裏付けられたといえます。ちなみに、2020年3月に予定されていた「令和元年度委託研究員研究成果報告会」は、政府の大規模イベント開催に対する自粛要請を受け、中止となりました。本紙巻末に紀要原稿を付録として収録していますのでご参照ください。

## 小学生向け「夏休み調べ学習教室」 初の開催

「自分でテーマを決めて、調べる・研究する」夏休みの課題を、清教学園中学の図書館がサポートする「夏休み調べ学習教室」を7月30日（火）に開催しました。小学校4年生から小学校6年生までの児童を募集し、9名が参加しました。本の探し方、作品のまとめ方などをレクチャーし、発表会まで行いました。

参加者は「古代」「セミ」「リニアモーターカー」「天気」など、それぞれテーマを決め、作品を完成させました。



## II 施設概要

**名称:** 総合図書館 清教リブラリア

**所在地:** 〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

Tel : 0721-62-6828 (内線 28, 29) HP : <http://www.seikyo.ed.jp/>

ツイッター : <https://twitter.com/seikyolibraria>

理事長・チャプレン: 井上良作 中学高校・校長: 森野章二

中学高校・副校長: 菊岡秀行 中学・教頭: 慎繁範 高校・教頭: 安藤浩明

図書館教育: 片岡則夫 (探究科教諭) 山根美智子 (司書) 南百合絵 (司書教諭)

山崎勇氣 (司書教諭) 上河博美 (非常勤司書) 前野昌子 (非常勤図書館職員)

**生徒数:** 中学校 508名 (1年173名 2年173名 3年162名)

高等学校 1152名 (1年371名 2年390名 3年391名)

総生徒数 1660名 (昨年度1734名 74名減)

職員数 160名

合計 1820名 (昨年度1890名)

**学級数:** 中学校12学級 高等学校30学級 合計42学級

**設置:** 2002年4月 (「総合図書館清教リブラリア」として現在の位置で開館)

### 図書館:

床面積: 約256㎡ カウンター 司書室を含む 座席数: 20席

書庫 (スタディーホール・ホール上)

業務端末: 7台 生徒検索端末: 2台 無線LAN iPad: 3台

蔵書管理システム: LibMax (ソフテック) 図書館発注システム: TOOLi-S (TRC)

### 総合学習室:

床面積: 約98.2㎡

座席数: 44席 生徒用PC: 50台 教師用PC: 1台 無線LAN

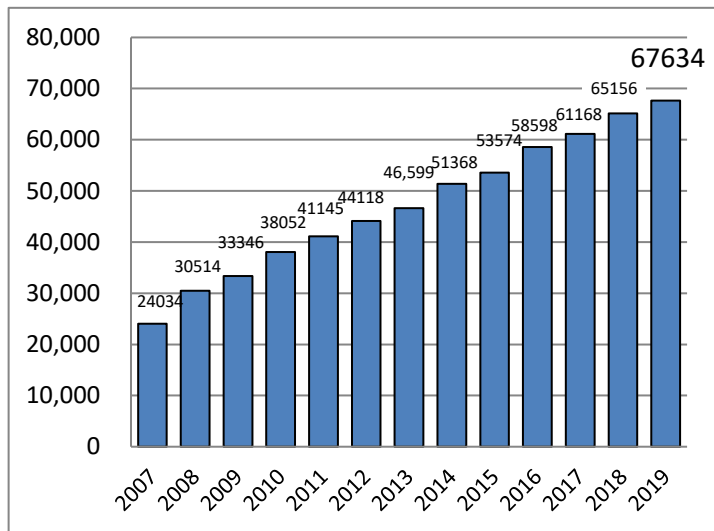
### ラーニングcommons:

座席数: 96席 生徒用情報端末: Chromebook 200台 Windows 5台

### Ⅲ 資料統計

#### 資料数は6万点を突破

本年度リブラリアの資料数 67634 点となりました。2018 年度末より 2478 点の増加です。統計を取り始めた 10 年前と比較して、フロア面積を変えずに蔵書数は 2.8 倍になりました。また、除籍 (1084 冊) を本年度も行いました。



#### 1. 購入図書冊数

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	96	95	404	543	491	239	205	420	49	702	86	3330
%	2.9	2.9	12.1	16.3	14.7	7.2	6.2	12.6	1.5	21.1	2.6	100

#### 2. 購入視聴覚数 0 点

#### 3. 寄贈図書

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
一般寄贈	0	10	26	31	27	16	18	16	16	362	70	592
PTA 図書費	1	4	2	4	5	0	2	1	2	49	3	73

※ まんが・絵本他には視聴覚資料 2 点を含む

#### 4. 遡及作業

分類	総記	哲学	歴史地理	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	0	0	1	0	0	3	0	0	0	1	1	6

#### 5. 生徒作品受入分

分類	総記	哲学	地理歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	6	3	2	15	31	33	31	38	1	3	1	164

#### 6. 総受入冊数

分類	総記	哲学	地理歴史	社会科学	自然科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
冊数	103	112	435	593	554	291	256	475	68	1117	161	4165
%	2.5	2.7	10.4	14.2	13.3	7	6.1	11.4	1.6	26.8	3.9	100

## 7. 紛失図書

年度	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	合計
紛失冊数	523※	137	79	148	207	144	164	112	194	145	100	99	1529
紛失率(%)		0.41	0.21	0.36	0.47	0.3	0.3	0.21	0.3	0.24	0.16	0.15	—

年間紛失率=年間紛失冊数÷蔵書冊数×100 被害総額 72,366 円  
 ※2008 年度はこれまでの紛失図書の累計値

## 8. 廃棄数冊数 1084 冊（昨年度 578 冊）

## 9. 総蔵書数・蔵書構成

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
生徒作品	67	37	74	231	305	304	299	345	48	30	0	1740
寄贈	287	331	573	643	583	205	134	344	333	3613	569	7615
蔵書 合計	2075	3279	5289	8335	8513	5297	4360	7607	1682	19118	2079	67634

※生徒作品にはテキスト・年報を含む  
 ※ まんが・絵本他には視聴覚資料 416 点等を含む

## 10. 生徒一人あたりの平均蔵書数 40.7 冊（67634 冊÷1660 名）（昨年度 37.6 冊）

## 11. 教室設置図書（すくどの本）の蔵書数・紛失数

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	まんが 絵本他	合計
蔵書数	2	5	7	35	33	4	7	11	2	220	1	328
紛失冊数	0	1	1	7	5	1	0	1	0	45	0	61
分野別 紛失率	0	20	14	20	15	25	0	9	0	20	0	19
全体に対す る紛失率	0	0	0	2	2	0	0	0	0	14	0	19

昨年度は 273 冊。本年度から 1・2 年生のすくどの棚も 2 つに増設した。英語の本 35 冊も主題の分類に含む。学年の意向で、中 2 学年 4 クラスには 2 学期から平和に関する本 26 冊を追加した。

## 12. 雑誌（購入 18 誌・寄贈 3 誌）

Number	学校図書館	News がわかる	MOE
Newton	月刊ピアノ	週刊東洋経済	鉄道ジャーナル
関西ウォーカー	スクリーン	THE BIG ISSUE JAPAN	ナショナル・ジオグラフィック 日本版
ダ・ヴィンチ	オレンジページ（隔週）	進学通信	進学通信（関西版）
季刊デザインノート	日経エンタテイメント	ねこのきもち（寄贈）	どうぶつのくに（寄贈）
mundi（寄贈）	青春と読書（寄贈）	波（寄贈）	図書（寄贈）

## 13. 新聞（購入 2 誌）

朝日新聞
毎日新聞

## データベース

スクールヨミダス
----------

## IV 利用統計

開館時間 月曜日～土曜日 8:10～18:00 ※長期休暇中は別に定める

開館日数 255日(前年度276日)

### 授業利用時間

総合学習：12時間/週（総合学習室），社会演習：4時間/週（総合学習室），美術（随時）

ラーニングコモンズ：中高I PBL，高1情報の科学(探究編)等

スタディホール：キリスト教概論，保健体育，オンライン英会話等

### 貸出方法・期間

貸出冊数：20冊まで／貸出期間：14日以内 ※長期休暇中は別に定める

年間総貸出冊数 29471冊（昨年度37012冊）

利用者1人あたりの貸出冊数〔貸出密度〕（ ）は前年度

全生徒 16.2冊/年（21.3冊/年）

中学生 42.0冊/年（53.9冊/年）

高校生 5.3冊/年（6.3冊/年）

職員 7.6冊/年（9.8冊/年）

開館日1日あたりの貸出冊数：115.6冊（134.1冊）

蔵書1冊あたりの平均貸出冊数〔蔵書回転率〕：0.44冊（0.57冊）

（蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数）

新しい本が図書館にどの程度入ったか〔蔵書新鮮度〕：6.2%（6.9%）

（蔵書新鮮度＝その年の蔵書受け入れ冊数÷全蔵書冊数×100：数値が高いほど書架に新しい本が多い）

リクエスト件数 817件 複写申請数 37件（34件）スキャン数の増加のため減少継続

他館借受本 417冊（766冊）河内長野図書館他

### 長期休暇中の利用

開館日数：34日（32日）

総入館者数：1260名（1158名）

利用：貸出 753冊（809冊）返却 649冊（616冊）

1日あたりの入館者：37人（36人）

1日あたりの貸出数：22冊（25冊）

1日当たりの返却数：19冊（19冊）

## 2019年度年間貸出統計

	中1	中2	中3	中学生 合計	高1	高2	高3	高校生 合計	職員	清教 幼稚園	教科 他	総貸 出数	開館 日数	1日平均	予約 件数
4月	1008	449	707	2164	613	97	129	839	75	0	36	3114	20	155.7	73
5月	1371	531	1029	2931	234	153	151	538	136	0	0	3605	22	163.9	181
6月	1228	559	809	2596	183	264	173	620	108	177	154	3655	21	174.0	106
7月	615	689	1034	2338	223	276	327	826	132	0	8	3304	25	132.2	107
8月	331	260	359	950	114	91	157	362	63	0	0	1375	26	52.9	18
9月	404	1148	572	2124	159	184	229	572	96	163	13	2968	23	129.0	74
10月	343	1236	500	2079	124	112	234	470	92	0	2	2643	25	105.7	55
11月	553	731	673	1957	208	171	283	662	63	0	0	2682	24	111.8	81
12月	319	462	657	1438	217	141	201	559	80	0	2	2079	23	90.4	30
1月	197	933	239	1369	130	101	72	303	58	233	0	1963	21	93.5	32
2月	138	923	188	1249	129	113	87	329	98	0	0	1676	18	93.1	23
3月	52	67	9	128	32	27	0	59	220	0	0	407	7	58.1	5
集計	6559	7988	6776	21323	2366	1730	2043	6139	1221	573	215	29471	255	115.6	785

## 分類別貸出冊数と回転率

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	視聴覚	絵本	マンガ	その他	合計
貸出冊数	504	699	1254	2896	3576	2473	1845	3554	524	9912	80	459	1411	284	29471
分野別 回転率	0.29	0.22	0.24	0.35	0.42	0.47	0.43	0.48	0.30	0.56	11.10			0.45	
蔵書 回転率	0.01	0.01	0.02	0.04	0.05	0.04	0.03	0.05	0.01	0.15	0.01			0.45	

※ 「蔵書回転率」は蔵書1冊あたりの平均貸出冊数（蔵書回転率＝年間貸出冊数÷全蔵書冊数）

※ その他は他館からの借受本など。

## すくど文庫の分類別貸出統計

分類	総記	哲学	歴史 地理	社会 科学	自然 科学	工業	産業	芸術	言語	文学	その他	合計
蔵書冊数	61	82	71	210	301	93	103	220	33	1697	2	2873
貸出冊数	33	38	31	87	112	40	39	71	10	883	1	1345
回転率	0.54	0.46	0.44	0.41	0.37	0.43	0.38	0.32	0.30	0.52	0.50	0.47

※2018年度 貸出冊数 1718冊，回転率 0.61

## 図書館登校生徒

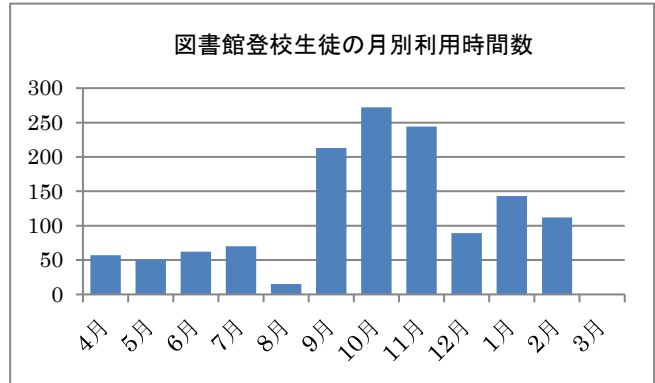
年間利用日数：187 日  
 利用生徒：26 名  
 年間利用のべ人数：563 人  
 総利用時間数：1347 時間（校時）  
 （2018 年度 1373 時間）

中学			高校			留学生	合計
1年	2年	3年	1年	2年	3年		
2	5	2	2	5	3	7	26

図書館登校生徒数

図書館登校の生徒は年間で 187 日の利用でした。コロナの影響で 2 月末から休校になり、年間開館日数が 255 日なので、長期休みを除くとほぼ毎日利用があったこととなります。

総利用時間数は 1347 時間で、昨年度より 26 時間減少しました。中高生ともに「教室に入りにくい」等の理由がほとんどでした。また、留学生や留学から帰国した生徒等も利用しました。もっとも利用した生徒は、中 1 男子の 183 時間でした。



## ラーニングコモンズ利用統計（放課後のみ・3年目）

開室日数：170 日（昨年度 176 日）  
 総利用者数：5746 名（昨年 5821 名）  
 利用者数：33.8 人/日（昨年度 33.1 人/日）

chrome/mac	私物	パス	レファ	PC	教科
貸出	情報端末	ワード	レンス	相談	相談
806	1062	2	2	23	18

2019 年度生徒対応統計

本年度の開室日 1 日あたりの利用者数は 33.8 人で、昨年度より微増しました。ラーニングコモンズの開室は 3 年目となり、ラーニングコモンズでの自習が生徒に定着してきたことがうかがえます。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数(人)	212	806	423	1204	59	493	786	583	675	371	532	—

2019 年度月別利用者数

## 「朝の読書」アンケート調査

「本をつなげるプロジェクト」（後述）、「ちいさいおなはし会」（後述）、学級文庫「すくどの本」の設置など、リブラリアでは朝の読書の時間の充実にも力を注いでいます。例年、年度末に朝の読書に関するアンケート調査を行い、その結果から次年度の学級文庫のラインナップ等、見直しを行っています。

2020 年 3 月の調査では、中学生の 4 分の 1 近く（23.4%）の生徒が回答してくれました。新型コロナの影響で、回答者数は例年に比べ少なくなっていますが、中 1 生 55 名、中 2 生 39 名、中 3 生 19 名の計 119 名です。



今回のアンケートから、朝の読書の時間には自分の本を読んでいる生徒が多いが、図書館の本や「すくどの本」を利用している生徒もかなりいることがわかりました。しかし、「すくどの本におもしろい本はあった」と72%の生徒が回答しているにもかかわらず、実際にリブラリアにすくどの本やその続きを借りにいったことがある生徒は約3割(27.7%)と、図書館に足を運んでもらう難しさが明らかになりました。

学級文庫「すくどの本」設置の目的は、大きく3つあります。おもしろい本を生徒の身近な場所に置いて、本を読むのが苦手な生徒にも「本はおもしろい」と思う経験をしてもらうこと、自分では選ばないような本と出会ってもらうこと、図書館に足を運んでもらうことです。教室と図書館の距離を縮めるために、さらなる工夫が必要です。

### 1. 「朝の読書」で読む本はどのように準備していましたか。(複数選択可)

	中1	中2	中3
1.購入した自分の本	34(61%)	22(56%)	13(68%)
2.家にあった本	24(43%)	8(20%)	7(36%)
3.友だちに借りた本	3(5%)	6(15%)	2(10%)
4.リブラリアで借りた本	27(49%)	21(53%)	12(63%)
5.学級文庫「すくどの本」	26(47%)	18(46%)	9(47%)
6.学校以外の図書館で借りた本	7(12%)	4(10%)	4(21%)

### 2. 本年度、学級文庫「すくどの本」を利用しましたか。

	中1	中2	中3
1.よく利用した	17(31%)	12(30%)	4(21%)
2.たまに利用した	16(29%)	10(25%)	6(31%)
3.利用したことがある	17(31%)	7(17%)	5(26%)
4.全く利用しなかった	4(7%)	10(25%)	4(21%)
5.無回答	1(1%)	0	0

### 3. 「すくどの本」やその続きを図書館で借りたことがありましたか。

	中1	中2	中3
1.あった	19(35%)	9(23%)	5(27%)
2.なかった	35(64%)	30(76%)	13(72%)
3.無回答	1(1%)	0	1(5%)

4. 「すくどの本」におもしろい本はありましたか。

	中 1	中 2	中 3
1.たくさんあった	14(25%)	2(5%)	2(11%)
2.まあまああった	20(37%)	12(31%)	7(41%)
3.少しあった	8(14%)	13(34%)	6(35%)
4.1冊だけあった	1(1%)	1(2%)	0(0%)
5.全然なかった	11(20%)	10(26%)	2(11%)
6.無回答	1(1%)	1(2%)	2(10%)

5. 生徒によく読まれた本

順位	中 1	人数(%)	順位	中 2	人数(%)	順位	中 3	人数(%)
1	『ぼくらの七日間戦争』 宗田理	18(36%)	1	『ガール！ガール！ガールズ！』 宮下恵菜	8(26%)	1	『幸福な食卓』 瀬尾まいこ	4(26%)
2	『都会(まち)のトム&ソーヤ 1』 はやみねかおる	15(30%)	2	『5分後に意外な結末 1 赤い悪夢』	7(23%)		『注文の多い料理店』 宮沢賢治	
3	『カラフル』 森絵都	14(28%)		『ミカ!』 伊藤たかみ			『そして誰もいなくなった』 アガサ・クリスティー	
4	『絶体絶命27時間!』 キース・グレイ	11(22%)	4	『くちびるに歌を』 中田永一	6(20%)	4	『きみが見つめる物語 不思議な話編 十代のための新名作』	3(20%)
5	『お任せ！数学屋さん 〔1〕』 向井湘吾	10(20%)	5	『いじめられている君へ いじめ ている君へ いじめを見ている君 へ』 朝日新聞社編	5(16%)		『浜村渚の計算ノート 1』 青柳碧人	
	『おれがあいつであいつが おれで』 山中恒			『野生動物のお医者 さん』 斉藤慶輔			『博士の愛した数式』 小川洋子	
	『囚われちゃったお姫さま』 パトリシア・C. リーデ			『銃とチョコレート』 乙 一			『温室デイズ』 瀬尾まいこ	
	『少年八犬伝』 小野 裕康	『白い巨塔 1』 山崎豊 子						
	『走れ！T校バスケッ ト部』 松崎洋	『スターリンの鼻が落っこ ちた』 ユージン・イエレチ ン						

6. 「すくどの本」の中でおもしろかった本

順位	中1	人数	順位	中2	人数
1	カラフル	7	1	都会のトム&ソーヤ	2
2	都会(まち)のトム&ソーヤ 1	5		ガール！ガール！ガールズ！	
3	あたしたちのサバイバル教室	3		和訳できない世界の言葉	
4	わたしたちはいのちの守人 三人の看護師・助産師の現場	2		頭の打ちどころが悪かった熊の話	
	獣の奏者			弟の戦争	
	絶体絶命27時間！		中1の時に読んだ「ユウキ」		
	夢をかなえるゾウ		唇に歌を		
順位	中3	人数	2	銃とチョコレート	1
1	幸福な食卓	3		気まぐれロボット	
2	浜村渚の計算ノート	2		顔をなくした少年	
3	氷点	1		ハピネス	
	面白くて眠れなくなる数学			つむじダブル	
	宇宙への秘密の鍵			ミカ！	
	『この世で一番大事な「カネ」の話』				
	『アラマタ生物辞典』				

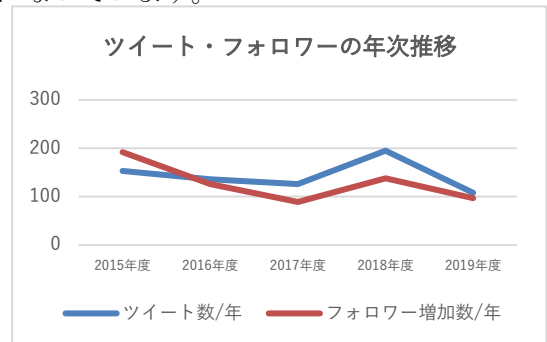
## リブラリア Twitter 統計 (5年目)

今年も「アナリティクス」というサービスで、ツイート数と話題になったツイートを分析しました。

本年度のツイートは全108回(昨年度195回)。ツイート数が半減してしまった1年でした。投稿する話題には事欠かないものの、マメなツイートができていない状況です。また、この1年間で、人々がリブラリアの投稿を見た回数は総計約2.4万回(昨年度39万回)。前年から93.8%もの大幅な減少となりました。

SNSは投稿し話題になれば、人々の目に触れる機会が連鎖的に増えるツールです。そのため、投稿ネタもさることながら、投稿する頻度がやはり重要。次年度はマメなツイートが優先事項です。一方で、探究学習の高まりを受けて、中学総合や旧探究科に関連するツイートは相変わらず注目されています。また、図書館の日常を切り取った何気ないツイートも人気。Twitterへの投稿をきっかけに、原稿執筆依頼・講演依頼が来ることもあり、学外にアピールする強力な材料になっています。

	ツイート数累計	ツイート数/年	ツイート数/日	総フォロワー数	フォロワー増加数/年
2015年度	153	153	0.4	192	192
2016年度	289	136	0.4	318	126
2017年度	425	126	0.3	407	89
2018年度	620	195	0.5	545	138
2019年度	728	108	0.3	642	97



## 月別ツイート・視聴数/反響のあったツイート

	ツイート数	読まれた回数
4月	9	26,458
5月	25	30,541
6月	21	46,947
7月	23	52,407
8月	4	21,862
9月	25	48,331
10月	20	33,701
11月	14	29,803
12月	13	30,981
1月	16	25,721
2月	17	39,272
3月	8	27,272



清教学園リブラリア @seikyolibraria

中の司書A、今夏の旅のお供(本)には、高校生が作ってくれたブックカバーを装備してきました。格好いいでしょ? 人気アイテムのため、現在は在庫がありません。再配布は今年の中学文化祭を予定しています。欲しい人はリブラリアへ! [pic.twitter.com/AT27KehDjx](https://pic.twitter.com/AT27KehDjx)

参照数 3095



清教学園リブラリア @seikyolibraria

【おはなし会?】自習の合間にやってきた高3生。ふと見ると、集まって何やら...。手には『家族進化論』山極寿一/著(東京大学出版会)。息抜きなのかな? みんないい顔しているところをパチリ📷

[pic.twitter.com/swj80q8jC4](https://pic.twitter.com/swj80q8jC4) 参照数 5946



清教学園リブラリア @seikyolibraria

第2部「ジオラマを作ろう!」は、司書Aによる「超簡単!ジオラマ教室」です。8cm四方のミニ台座を舞台に、生徒が思い思いの情景を描きます。総合学習の授業を行っている教室で、まさかプラモデルを教える日が来るとは...。 [pic.twitter.com/H1tJ0jV7W](https://pic.twitter.com/H1tJ0jV7W)

参照数 2702



清教学園リブラリア @seikyolibraria

【ビブリオバトル】関西大学で行われた全国高等学校ビブリオバトル西日本大会に清教生が出場しました。各府県から選ばれた生徒は50人。紹介した本は、梨木れいあ著『晴ヶ丘高校洗濯部!』(スターツ出版)。熱く話って健闘していました。

[pic.twitter.com/2MLC3oTybW](https://pic.twitter.com/2MLC3oTybW)

参照数 3252



清教学園リブラリア @seikyolibraria

内田さんがリブラリアを訪問されました! スタッフから卒業論文の取組みを紹介し「子どもがテーマを決めて、何でも学ぶ事ができる図書館体制(スタッフや蔵書、授業内容)」にとても感心されておられました。生徒も一緒にパシャリ!

参照数 3285

[pic.twitter.com/2rHYgANadl](https://pic.twitter.com/2rHYgANadl)



清教学園リブラリア @seikyolibraria

【中1総合学習】「はじめての探究学習」2時間目では、百科事典からことばの定義のカードを作りました。ポプラ社『総合百科事典ポプラディア』や平凡社『世界大百科事典』などから情報カードを作りました。あと2回で完成させます! [pic.twitter.com/5DwLuOuWJz](https://pic.twitter.com/5DwLuOuWJz)

参照数 5792



清教学園リブラリア @seikyolibraria

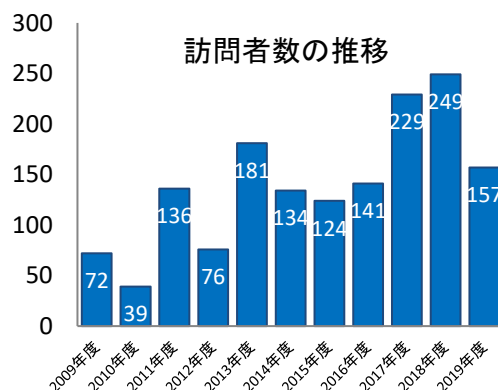
【これ、なんだ?】中2の男の子が大事そうにペットボトルを持って来館。中に入っていたのは...!? 学校のグラウンドで動きのおかしいカマキリを見つけ、持っていたピンセットで引っ張り出したそう。私も初めて見ました! [pic.twitter.com/twKcWK9Ohi](https://pic.twitter.com/twKcWK9Ohi)

参照数 2493

## V 2019年度の記録

### 訪問者（敬称略）

2019年度の訪問者は29件157名でした。訪問者数は累計1500名を突破しました。



	日付	人数	所属	訪問目的
1	5月23日	3	大阪府障害者福祉事業団 就業支援担当	図書館見学
2	6月8日	5	大阪国際滝井高等学校	図書館、総合学習室見学、探究型 学習視察
3	6月13日	6	京都産業大学附属中学高等 学校	図書館、総合学習室見学、探究型 学習視察
4	6月14日	2	関西帰国生親の会 かけは し	学校訪問、図書館見学
5	7月12日	2	大阪市立中央図書館	図書館見学
6	7月22日	2	練馬区大泉西中学校	探究型学習視察、図書館・総合学 習見学
7	7月25日	1	日本基督教団 石津教会	図書館見学、資料利用
8	9月5日	13	馬淵教室 他学習塾	塾対象説明会、図書館見学
9	9月8日	2	ARAS 高校	図書館見学
10	9月11日	2	島根県安来市立広瀬中学校	図書館見学、探究型学習視察
11	9月25日	1	奈良教育大学附属中学校図 書館	図書館見学、探究型学習視察
12		1	同志社大学院	図書館見学、探究型学習視察
13		3	大和郡山市立平和小学校	図書館見学、探究型学習視察
14	9月30日	1	開智中学・高等学校	図書館見学、探究型学習視察
15	10月18日	1	グーグル合同会社、(株) エデュテクノロジー	図書館見学、探究型学習視察
16	10月28日	2	明治学園中学・高等学校	図書館見学、探究型学習視察
17	10月29日	2	ネットアドバンス	ジャパンナレッジの探究での運用 について
18	10月31日	1	私塾会 京都支局	学校見学
19	1月15日	9	耕芸女子高等学校	学校見学、英語・総合学習視察
20	1月22日	49	IT 関連企業	授業見学、ICT活用・探究学習に ついて
21	1月28日	1	吹田市立佐井寺中学校	中学探究学習視察
22	1月30日	1	名古屋大学	図書館訪問
23	1月31日	1	奈良新聞社	図書館訪問、記事検討。
24	2月3日	4	関西大学第一中学校・高等 学校	中学探究学習見学
25	2月6日	37	フィリピン、リードリーイ ンターナショナル校	図書館見学、総合学習見学
26	2月12日	1	元 国語教員	図書館見学、探究型学習視察
27	2月19日	2	大東市立深野中学校	図書館見学、探究型学習視察
28	3月23日	1	関西大学第一中学校・高等 学校	探究授業立ち上げのための相談
29	3月26日	1	早稲田実業学校 図書館	探究授業の相談

「図書館だより」（テーマの本を集めて展示し、図書館だよりをクラス配布）

時期	テーマ	担当
2019年5月	変身！	上河
6月	へんな学術研究あります。	山崎
7月	夏休み，“自立”／“自律”する？	南
9月	0類～3類の本集めてみました。	山根
10月	Do It Yourself 自分でやってみよう！	上河
11・12月	科学道100冊 ジュニア	山崎
2020年1月・2月	おいしい本，集めました	南
2月・3月	新書を読んでみませんか？	山根

その他の特集展示・掲示

時期	テーマ	備考
2019年5月	おためし読書本（フィクション）	中学1年総合
	おためし読書本（ノンフィクション）	中学1年総合
	中村哲医師著作本コーナー	宗教部講演会（高校）
6月	第68期卒業論文	前中学3年生
	図書委員おすすめ本	
	論文入試対策 参考図書	進路部より依頼
5月～7月	ちいさいおはなし会で紹介した本	
7月	リブラリアクイズで募った自作ことわざ	生徒作品6句
8月	怖い本	
9月	やる気が出ないあなたへ	
	スキマ時間にいかが？ショートショート集めました	
10月	「字を読みたくないねん」というあなたへ 写真集・イラスト集・画集・絵本	
	吉野彰氏ノーベル賞受賞！ノーベル賞特集	関連図書展示
10月～12月	ちいさいおはなし会で紹介した本	
11月	クリスマス特集	本・ツリーとプレゼビオ（降誕ジオラマ）設置
12月	追悼 中村哲医師	関連図書展示
2020年1月	名誉理事 中山昇先生追悼	著作本・関連図書展示
	ネズミの登場する本	
	バレンタインデー特集	
2月	ちいさいおはなし会で紹介した本	

## 行事

2019年4月	図書館利用ガイダンス 高1（聖書の授業1時間）図書館職員 高2，高3（「朝の読書の時間」10分間）各クラス図書委員
5月	第1回リブラリアクイズ(参加18名) ちいさいおはなし会（中3朝の読書）
6月	小学校5年生体験入学，図書館体験（14名+保護者14名） 清教幼稚園との交流 参加者46名（子ども25名，大人21名，うちリピーター7組） ボランティア8名 ちいさいおはなし会（中2朝の読書）
7月	ちいさいおはなし会（中1・中3朝の読書） 第2回リブラリアクイズ（参加7名）
9月	小学生（4～6年）向け夏休み調べ学習教室（参加9名） 文化祭 スタディホールにて総合学習関連の展示。 文化祭 スタディホールにて折り紙の生徒作品展示 ミニ折り紙教室 清教幼稚園との交流 参加者45名（子ども24名，大人21名，うちリピーター7組） ボランティア8名
10月	ちいさいおはなし会（中2朝の読書） 第3回リブラリアクイズ（参加者30名）
11月	ちいさいおはなし会（中1朝の読書）
12月	ちいさいおはなし会（中1朝の読書） 宗教部・リブラリア共催クリスマス会 教師によるコンサート，プラバン作り，本の紹介（生徒54名，教職員9名）
2020年1月	清教幼稚園との交流 参加者50名（ボランティア10名）
2月	ちいさいおはなし会（中1・中2朝の読書） 第4回リブラリアクイズ（参加者24名） 蔵書点検及び本のロケーション変更，除籍本の検討と譲渡

### 年度を通じた活動（通常業務以外）

- ・登録バーコード位置統一作業（貸出・返却作業，蔵書点検作業の効率化をはかるため）。
- ・分類サインのリニューアル。
- ・カウンセリングルームと連携し，生徒への居場所提供。カウンセリング協議会への参加。
- ・階段横壁面を利用して，原作本のある映画や美術館の案内などを随時展示。
- ・国立国会図書館「レファレンス協同データベース」に参加継続中。

### 「本をつなげるプロジェクト」の活動

「本をつなげるプロジェクト」は有志生徒による活動です。いつ何をするかは生徒が決め，図書館スタッフは生徒がしたいことをできるようにサポートします。

学年	中3	高1	高2	高3	合計
人数	2	10	3	3	18

「本をつなげるプロジェクト」登録メンバー

たとえば、新学期の高2・高3学年の図書館ガイダンスは各クラスの図書委員4名が行いました。利用案内のほか、各自のオススメ本の紹介をしました。それがきっかけとなり、新たにプロジェクトに参加する生徒も増えました。

また、高1野球部員による大型絵本の読み聞かせは本年度で4年目となりました。恒例の大型絵本『だるまさんが』の読み聞かせをはじめ、中1学年から高2学年までの全クラスで様々な本を紹介しました。さらに、昨年度は時間的制約があり訪れなかった高3学年5クラスも訪問でき、受験生に笑顔を届けることができました。

このほか、本紹介のPOP作成、オススメする本を集めた「マイ本棚」づくりなども実施されました。

本年度の登録メンバーは18名（昨年度12名）。クラスを回った訪問者数（プロジェクト実施者）はのべ428名（昨年度210名）となり、訪問クラス数は116（昨年度55）クラスでした。



	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
中学教室	0	0	7	10	3	12	15	8	0	55
高校教室	2	5	3	0	3	28	2	15	3	82
計	2	5	10	10	6	40	17	23	3	116

訪問教室数

	4月	5月	6月	7月	10月	11月	12月	1月	2月	合計
中学生	0	0	0	0	4	13	0	0	0	17
高校生	2	11	18	18	14	137	81	115	15	411
計	2	11	18	18	18	150	81	115	15	428

訪問者数（プロジェクト実施者）のべ人数

### 「ビブリオバトル2019」に高校生2名、中学生1名が出場

2019年8月20日、本校総合学習室において「ビブリオバトル」学校代表者選考会が行われ、高校生2名、中学生1名が選ばれました。高校生1名は各府県から選抜された50名が集う「全国高等学校ビブリオバトル2019西日本大会」に出場し、もう1名は23校23名が集う「第5回大阪府中高生ビブリオバトル大会・高校生大会」に出場しました。中学生1名は32校32名が集った「第5回大阪府中高生ビブリオバトル大会・中学生大会」に出場し、それぞれ自分の「推し本」を時間いっぱいアピールしました。また、この大会が縁となり、大阪明星学園図書館にて兵庫3校、京都1校、大阪8校50名の高校生が集まるビブリオバトル交流会が開催され、本校から2名が参加しました。

## 清教学園幼稚園生による「リブラリア探険」(3年目)

3年目を迎えた「リブラリア探険」は、親子参加者数155名(昨年度62名)と過去最高の参加者となり、本の貸出数も573冊(281冊)と過去最高となりました。リピーターの他、小学生の兄姉の参加も多く、本の貸出数も増えました。行事としての幼稚園での認知・定着がうかがえます。本校図書館としては、この人数がリブラリアの施設としての収容人数の限界ですので、今後もこの人数が続くようでしたら、回数を増やすことを検討してもいいのかもしれませんが。会の運営を助けてくれる、本校の協力生徒数はのべ25名(27名)でした。

協力生徒も中学生からの応募が増えました。これまで高校2年生が主となりひっぱり続けていたのので、代替わりと新しい人材の確保が課題です。本取り組みは来年度も継続予定です。

第1回: 6月22日(土):参加者/大人23名, 子ども29名, お手伝い生徒8名

第2回: 9月28日(土):参加者/大人25名, 子ども24名, お手伝い生徒8名

第3回: 1月25日(土):参加者/大人18名, 子ども36名, お手伝い生徒9名



リブラリア探険の様子

## 「ちいさいおはなし会」の記録(3年目)

2017年度から始まった「朝の読書の時間」の「ちいさいおはなし会」は3年目となりました。中学1年生(71期)4回, 2年生(70期)3回, 3年生(69期)2回の計36回実施しました。

新型コロナウイルスに伴う休校で, 3年生の最後に予定していたおはなしを届けることが出来ませんでした。これを機会に来年度は高校の教室にも出向こうと考えています。また, 10分を超えるおはなしの機会は本年度も実現できませんでしたが, クリスマス会でのおはなしを実現できました。

### 中1(71期)

7月: 「馬方やまんば」(日本の昔話)/南

11月: 「やせたメンドリ」(イタリアの昔話)/上河

12月: 「星の銀貨」(グリムの昔話)/南

2月: 「三びきの子ブタ」(イギリスの昔話)/南

### 中2(70期)

7月: 「絵姿女房」(日本の昔話)/南

10~11月: 「おはなしを知らなかった若者」(アイルランドの昔話)/南

2月: 「てきぱきシアンシアンのおむこえらび」(中国の昔話)/上河

### 中3(69期)

5~6月: 「小さなこげた顔」(アメリカの昔話)/南

7月: 「あくびが出るほどおもしろい話」/上河



「ちいさいおはなし会」の様子  
(おはなしの時は部屋を暗くします)



番外：クリスマス会にて「ボタンインコ」（上河）

### A0 入試支援：神戸芸術工科大学特待生・慶応大学合格

一昨年発足した有志参加による探究活動「清教アカデミカ」参加生から、今年も進路開拓の報告です。カーデザイン研究で「2018年度 図書館を使った調べる学習コンクール」優良賞を受賞した さんは、自身の研究論文をポートフォリオとして提出し、神戸芸術工科大学の特待生枠でA0入試合格を果たしました。また「自然言語処理技術」研究を通じて、言語学への興味を深めていた さんは、慶應義塾大学文学部に合格しました。

他にも、朝の読書で本紹介を続けていた生徒も希望の進路に決まるなど、小論文入試に向けたレファレンス、司書による小論文指導などを含めた図書館での学びを通じた生徒の進路開拓が実った年でした。生徒の興味や関心によりそう蔵書と司書の支援が、直接的にも間接的にも、生徒の進路開拓に繋がっていったようです。

### 教科への授業支援：高 Global Studies・中社会演習等

学内における探究的な学びへの高まりを受け、各教科への授業支援が増えています。本年度も「授業設計に根差した授業支援」を目標としました。「資料の活用をどのように指導するのか」「探究的な授業をどう設計するか」を焦点として、担当教員と打ち合わせを行いつつ、生徒が図書館を活用できる導線づくりを目指してきました。「高1 Global Studies」「中3 社会演習」を中心に、様々な教科の授業をサポート。授業時に担当教員からの声かけもあり、授業で配布してもらったレファレンスシートをきっかけに、19グループ（76名）が来館してのレファレンスサービスを利用しました。授業テーマに応じた選書はもちろん、教材づくりやレファレンス等により、生徒の探究的な学びをサポートしました。

### 東大教員によるライブ「金曜講座」に参加（3年目）

東大教員によるライブ講座「高校生と大学生のための金曜特別講座」に今年も参加しました。初学者向けに作られた講座テーマは、非常にバラエティに富んでいます。学術の世界に触れられるこの機会は、生徒の知的興味を刺激し、主体的な学びや進路選択をゆるやかに喚起しました。本校からは54名が参加しました。

### 研修等への参加（研修日・主催者「講座テーマ」会場、〔参加者〕）

- ・4/15（月）小澤俊夫氏「和歌山昔話大学」ビッグ愛, [南]
- ・5/10（金）2018年に出版された子どもの本[上河]
- ・5/17（金）家島明彦氏（2019年度私学委託研究アンケート調査相談）大阪大学, [片岡・南・山崎]
- ・5/18（土）子どもの読書と教育を考える会, [南]
- ・5/22（水）私立中高図書館研究会, [山根]
- ・5/30（金）千里国際中・高等学校にDBの打ち合わせと、教職員研修のゲストプレゼン[山崎]
- ・6/25（火）立命館中・高等学校, 同志社中学校, 施設見学[南]
- ・6/27（木）「学びの基礎スキルを考える会」大阪私学会館, [山崎]
- ・7/9（火）「学びの基礎スキルを考える会」大阪私学会館, [山崎]
- ・7/23（火）「学びの基礎スキルを考える会」大阪私学会館, [山崎・南]

- ・7/31（水）司書による高校生向け「よみがたりボランティア養成講座」の見学，和歌山県立和歌山高等学校，[南]
- ・8/03（土）・04（日）「子どもの読書と教育を考える会 夏季研究会」，[南]
- ・8/08（木）・09（金）近畿学校図書館研究大会 奈良大会，[山根]
- ・8/19（月）小澤俊夫氏「和歌山昔話大学」ビッグ愛，[南]
- ・9/26（木）大阪府立中央図書館「子ども読書活動推進養成講座」，[山根]
- ・10/29（火）「学びの基礎スキルを考える会」大阪私学会館，[南・山崎]
- ・11/03（日）「読売新聞ビブリオバトル西日本大会」関西大学梅田キャンパス，[山根]（高2A 藤原）
- ・11/10（日）「大阪府ビブリオバトル高校生大会」近畿大学東大阪キャンパス，[山崎]（高2H 奥田）
- ・11/23（土）溝上慎一氏「学校と社会を繋ぐ調査学校と社会をつなぐ調査 第4回調査 分析結果報告会」AP日本橋，[南・山崎]
- ・11/29（金）大阪府図書館司書セミナー，[山根]
- ・11/30（土）浅岡靖央氏（児童文化研究者）「紙芝居の歴史から子どもの読書文化について考える」大阪府立中央図書館，[南]
- ・12/01（日）「大阪府ビブリオバトル中学生大会」大阪府咲洲庁舎，[山根]（中3D 鈴木）
- ・12/01（日）「子どもと本をつなぐ ボランティア交流会Ⅰ」大正区コミュニティセンター，[南・上河]
- ・12/05（木）大阪私立中学校・高等学校図書館研究会「学校図書館のための最新メディア情報リテラシーオンライン情報の信頼性をどのように読み解くべきか」大阪私学会館，[山崎]
- ・12/15（日）フォーラム「困難を抱える子供たちのために～読書でつくる，子供の居場所～」及び「しょういん子育て絵本館」の特別見学会，[山根・上河]
- ・12/16（月）小澤俊夫氏「和歌山昔話大学」ビッグ愛，[南]※これにて3年/全9回に及ぶ講座終了。
- ・12/18（水）追手門学院中・高等学校新校舎・図書館スペース見学及び探究的な学びの授業カリキュラムに関するディスカッション，追手門学院大学図書館見学，[山根・山崎・上河]
- ・2/01（土）「高等学校ビブリオバトル交流会」大阪明星学園図書館・ラーニングコモンズ，[山根]（高2A さん/高2H さん）

#### 雑誌・新聞記事・寄稿・WEB記事等（〔 〕内は執筆者）

- ・2019年11月 前田由紀「青春の本棚：中高生に寄り添うブックガイド」（『中高生からの論文入門』書評）『学校図書館』第829号
- ・2020年2月 片岡則夫「『1%（パーミル）』の興味に応える新書がほしいのです」（特集 ポケットに新書 ノンフィクションがおもしろい）『子どもの本棚』No.616
- ・2020年1月1日「『新書』で広がるYAの学び：学校図書館が出会いの場 質の高い内容を手軽に（第21回図書館総合展REPORT2）」『教育家庭新聞』
- ・2020年2月「『1%（パーミル）』の興味に応える新書がほしいのです」（特集 ポケットに新書 ノンフィクションがおもしろい）『子どもの本棚』No.616
- ・2020年2月2日 片岡則夫『中高生からの論文入門』（小笠原喜康氏との共著）の一部が東京家政学院中学校の入試問題として出題される。

#### 外部講師・学会発表等 36件（開催日・主催者「講座テーマ」会場，参加数〔担当〕）

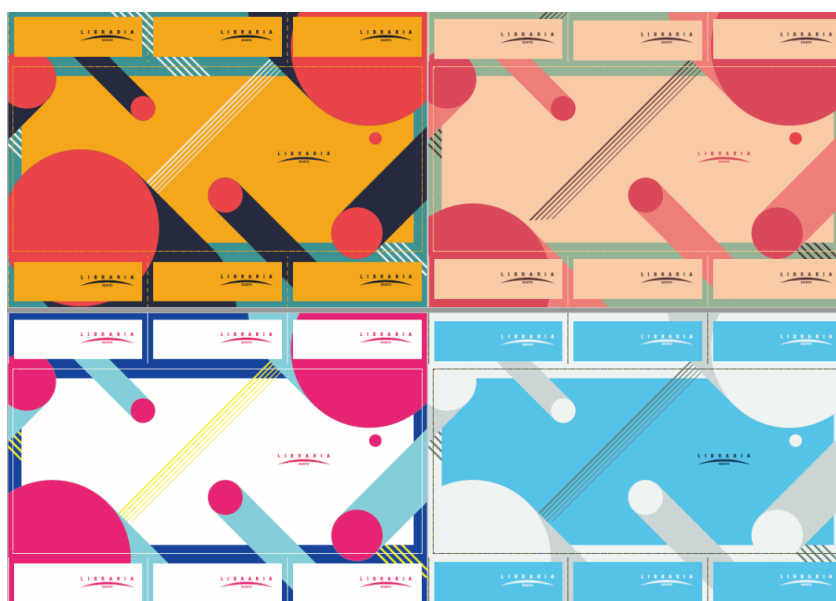
- ・2019年5月31日（金）千里国際中等部・高等部「潜在的な知的好奇心への働きかけ：自分でテーマを決める探究学習の進め方，支援の仕方」千里国際中高，15名〔山崎〕

- ・2019年5月31日(金)浜田市教育委員会「自分で決めて、読んで、学んで：調べる学習を進めるための児童生徒支援の在り方」浜田市立中央図書館，30名〔片岡〕
- ・2019年6月5日(水)品川区教育会国語部(図書館部会)「授業で学校図書館を活用しよう：読書活動・調べ学習」源氏前小学校，30名〔片岡〕
- ・2019年6月11日(火)茅野市教育委員会「調べる学習の進め方・審査のしかた」ゆいわーく茅野，30名〔片岡〕
- ・2019年6月14日(金)富谷市教育委員会「自分で決めて、読んで、まとめて：調べる学習の課題設定までのポイント」富谷市給食センターeハート，40名〔片岡〕
- ・2019年6月29日 京都カキナーレ塾「自分で決めて書くから書けるようになる：中高生が“論文を執筆する”授業現場からの報告」実践報告寄稿，京都市からしだね館，50名〔山崎〕
- ・2020年7月21日(日)熊取図書館 調べ学習応援講座(片岡・上河)
- ・2020年7月22日(月)東部地区小学校教育研究会図書館部会「自分で決めて、読んで、まとめて 調べる学習の課題設定までのポイント」河南町立近つ飛鳥小学校(南)
- ・2019年7月24日(水)ブックフェア茗荷谷(1回目)「『おためし読書』で読書活動はじめよう！」TRC本社会議室，24名〔片岡〕
- ・2019年7月25日(木)ブックフェア茗荷谷(2回目)「『おためし読書』で読書活動はじめよう！」TRC本社会議室，24名〔片岡〕
- ・2019年7月26日(金)江戸川区教育委員会社会体験研修「学校図書館がめざすゆたかな学び：清教学園中・高等学校の実践から」江戸川区中央図書館，25名〔片岡〕
- ・2019年7月30日(火)TRC新座ブックナリー見学／営業担当レクチャー「学校図書館の活性化は子どもの読書と調べる学習から：新学習指導要領をふまえて」TRC新座ブックナリー，15名〔片岡〕
- ・2019年7月31日(水)ブックフェア大阪支社「『おためし読書』で読書活動はじめよう！」TRC大阪支社，40名〔片岡〕
- ・2019年8月2日綾川町教育委員会「綾川町一貫教育研修会『調べ学習講座』」綾川町立図書館，30名〔山崎〕
- ・2019年8月2日(金)座間市立東地区文化センター高齢者学級「あすなろ大学」『ミニ調べる学習』から考える作品のまとめかた：花束にリボンをそえて」座間市立東地区文化センター，110名〔片岡〕
- ・2020年8月2日(金)関西教育ICT展「学びの基礎スキルを考えるー“Approaches to Learning” “Approaches to Teaching”-」日本アクティブ・ラーニング学会関西大会及びICT研究会共催企画，全体会及び分科会(ICT活用，図書館活用，探究・課題解決型)インテックス大阪〔南〕
- ・2019年8月3日(土)神奈川県座間市立図書館「第14回 調べる学習応援講座2019」座間市立図書館，14名〔片岡〕
- ・2019年8月5日(月)大分県図書館大会「子どもに本を9つの実践：探究心や知的好奇心を育む図書館の役割を考える」大分県立図書館，100名〔片岡〕
- ・2019年8月7日(金)熊取町教育委員会研修会「学校図書館を活用した授業・読書活動をはじめよう」熊取北小学校図書館，20名〔片岡〕
- ・2019年8月9日(金)小田原市立かもめ図書館「調べる学習チャレンジ講座2019」小田原市立かもめ図書館，10名〔片岡〕
- ・2019年8月20日(火)大阪市立中央図書館「学校図書館を活用した読書活動・授業をはじめよう」大阪市立中央図書館，80名〔片岡〕
- ・2019年8月22日(木)新潟市立図書館「学校図書館なんでも質問箱：図書館を利用した探究的な学習の進めかた」新潟市江南区文化会館，110名〔片岡〕
- ・2019年8月24日(土)神奈川県座間市立図書館「第14回 調べる学習応援講座2019 発表会」座間市立図書館，64名〔片岡〕

- ・2019年9月4日(水)大東市教育委員会「学校図書館とのであい：はじめての探究学習」大東市市民会館, 30名 [片岡]
- ・2019年10月1日(火)ブックフェア福岡「おためし読書」と「ミニ調べる学習」福岡タワー, 71名 [片岡]
- ・2019年10月9日(水)ブックフェア札幌会場「画用紙1枚! はじめての探究学習:学習指導要領の改訂に向けて学校図書館をどう使うか」, 68名 [片岡]
- ・2020年10月29日(火)私学会館「学びの基礎スキルを考える会」分科会(図書館活用)(南・山崎)
- ・2019年11月1日(金)ライブラリー・アカデミー「ICTが多様な学びを支える:デジタル環境下の学校教育と生涯学習」TRC大阪支社, 12名 [片岡]
- ・2019年11月12日(火)図書館総合展フォーラム「YAと新書がであう」パシフィコ横浜, 181名 [片岡]
- ・2019年11月13日(水)足立区立中学校教育研究会図書館部研修会「学校図書館の活性化をはかるために」足立区立千寿桜堤中学校, 50名 [片岡]
- ・2019年11月26日(火)TRC学校図書館チーフ研修「ティーンズサービスを取り組む上での考え方・取組事例」品川区立大崎図書館分館, 27名 [片岡]
- ・2019年12月18日(水)ブックフェア「おためし読書」みとアリーナ, 50名 [片岡]
- ・2019年12月20日(水)京都府私立学校図書館協議会「中高生『論文』に挑戦!:探究学習を支える学校図書館」京都両洋高等学校, 26名 [片岡]
- ・2020年1月31日(金)伊賀市上野図書館「図書館を使った調べる学習コンクール」伊賀市上野図書館, 19名 [片岡]
- ・2020年2月14日(金)TRCエリアマネージャー対象「チーフのための『もみわ広場』と『おためし読書』」TRC本社会議室, 35名 [片岡]
- ・2020年2月18日(火)大阪府茨木市中央図書館「公共図書館と学校との連携:調べる学習応援講座をはじめよう」茨木市中央図書館, 80名 [片岡]

## 出版・印刷物等

- ・2019年6月『ブックカバー兼リブラリア利用案内』100部/デザイン:高校50期坂本誠幸さん(3種・入試予算)
- ・2019年9月『ブックカバー兼リブラリア利用案内』600部/デザイン:高校50期坂本誠幸さん(6種・学園祭予算)



## VI 課題

### ① 貸出点数の減少の原因は携帯電話か

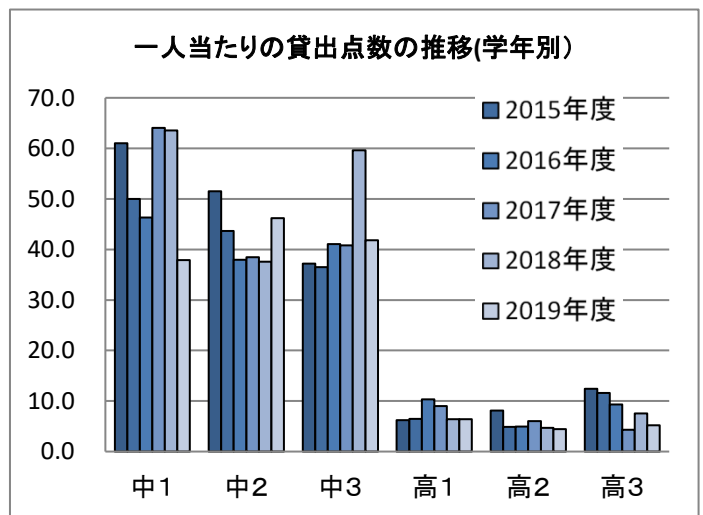
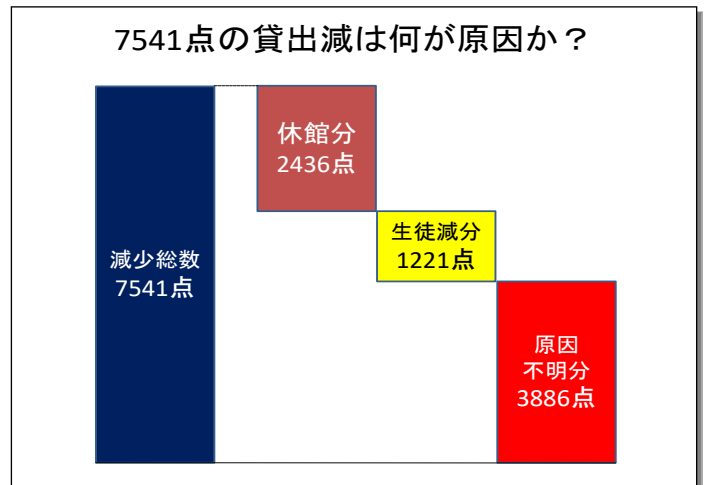
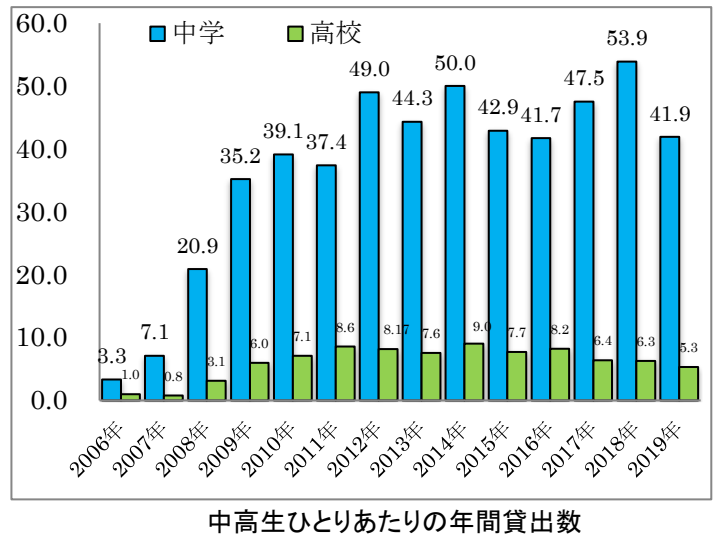
トピックでも見たように、ひとりあたり年平均の貸出冊数が中高で急減しています。まず、総貸出点数が7541点の減少です。この減少の要因について、分析します。

まず明らかなのは新型コロナウイルスによる約1カ月(21日間)の休館です。1日あたりの平均貸出数が本年度は約116冊ですので、21日×116冊=約2436冊の減少は当然です。また、生徒数も74名減っているため、ひとりあたりの年間貸出冊数は本年度全生徒で16.5冊ですから、74名×16.5冊=1221冊の減少もありえます。したがって、こうした休館・生徒減の影響の合計は3657冊になります。ところが昨年からの貸出減は7541冊ですから、こうした影響を除いたとしても7541-3657=3886冊、約4000冊の減少の説明が付きません。

次に一人当たりの貸出点数を見ます。中学生で年間12.0冊、高校生で1.0冊減少しています。中学生では3年ぶりの、高校生では10年ぶりの低水準にとどまりました。

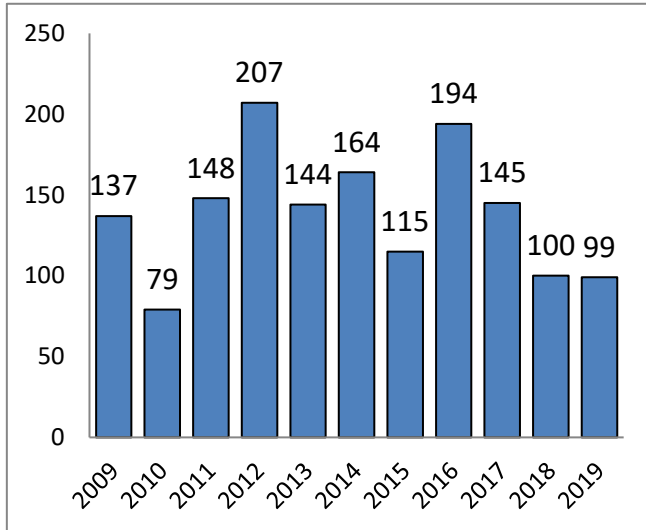
これを学年別に見たのが右のグラフです。減少が特に顕著なのが中1生と中3生です。中1では2018年度63.6冊が、2019年度に37.9冊と約40%減少しており、この6年で最も低い値を示しています。中3では59.6冊が41.8冊と約30%の減少ですが、これは2018年の貸出が例外的に多かったためかもしれません。中2生は逆に伸びています。

なぜこうした現象が生じるのか。予想される原因の一つが携帯電話です。2019年度より校則が改まり、高校生にのみ認められていた携帯電話の学校への持参が中学生でも可能になりました。このため、電車通学の多い本校生徒が通学を携帯電話に費やすようになったのかもしれません。特徴的なのが中1生で、本校でこれまで取り組んでいた読書習慣の育成以前に、携帯電話の利用が広まってしまった可能性があります。また中3生の減少については卒業論文発表会直前に休校が始まった影響もあるかもしれません。

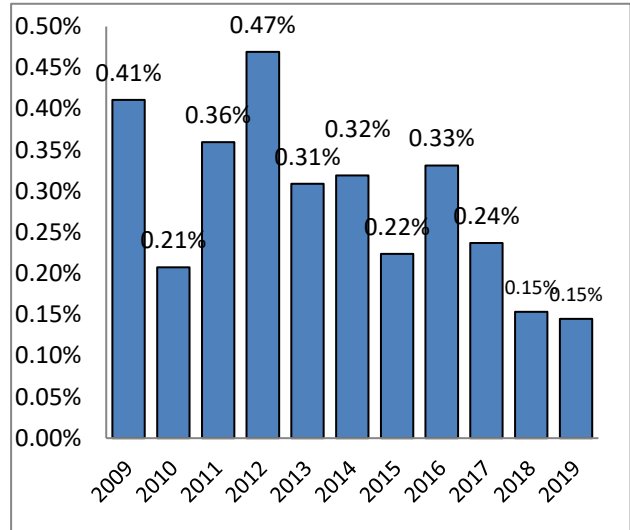


## ②紛失図書問題

紛失図書の総数が、本年度は99冊（昨年度は100冊）と微減し、8年ぶりに3ケタを割ることができました。図書紛失率も0.15%でほぼ変化はありません。統計を取り始めた2009年度からの紛失本の累計は1532冊です（平均単価1800円として被害総額約276万円）。こうした状況に鑑み、長年提起しているように、ICタグによる蔵書管理が必要です。すでに一部私学で導入されICタグ単価も10円以下になりました。蔵書点検の効率化を含め導入時期に来ています。



紛失図書数推移（冊）



図書紛失率の推移（冊）

## ② 蔵書の不足とスペースの限界

現在の総蔵書数約67634冊は一見多いように見えます。しかし、1660名が在籍する大規模校、清教学園中・高等学校の、生徒一人あたりの平均蔵書数は41.1冊にすぎません。これは高等学校の生徒一人あたりの平均蔵書数の全国平均35.4冊をわずかに5.7冊上回る程度です(2018年6月全国SLA調査による)。探究学習が本格化する中、一層の充実が必要です。

振り返って、統計を取り始めた11年前と比較して、蔵書数は2.8倍になりました。フロア面積を変えずに、約3倍の収納を実現したのです。また、これまで積極的に進めてきた図書の除籍も限界が近づいき、リブラリアは過飽和の状態が続いています。新校舎建設が当然期待されますが、それ以前に、スタディホールの一部書庫化を提案します。

# 自由にテーマを決めて学ぶ探究学習が、

## 生徒の学習観にどのような影響を与えたか

— 「卒業論文」を振り返る、15歳から28歳へのアンケート調査—

清教学園中・高等学校 山崎 勇気 片岡 則夫 南 百合絵

### はじめに

清教学園中・高等学校では、図書館を使った探究的な学びのカリキュラムを中学1年次から構築している。本校図書館の愛称「リブラリア」から名称をとり、「リブラリア・カリキュラム」と冠した本カリキュラムは、2007年度に開始された。以降、内容を改善しつつ継続して、今年度で13年目となる。

実施初年度の生徒たちの年齢は、2019年現在28歳であり、社会に出て数年が経っている。そこで本研究では、「リブラリア・カリキュラム」が彼らの人生にどんな影響を与えているのか、履修者に振り返りアンケート調査を行い、探究学習の長期的な教育効果の検証を行った。本稿ではその概略を報告する。

### 1. 「リブラリア・カリキュラム」とは

「リブラリア・カリキュラム」とは、中学校3年間の総合的な学習の時間(1単位)で実施されている取り組みである。(図1)に示すように、読・書・算のスキルを中学1・2年次に身につけ、中学2・3年次で集大成となる「卒業論文」の制作を行う。

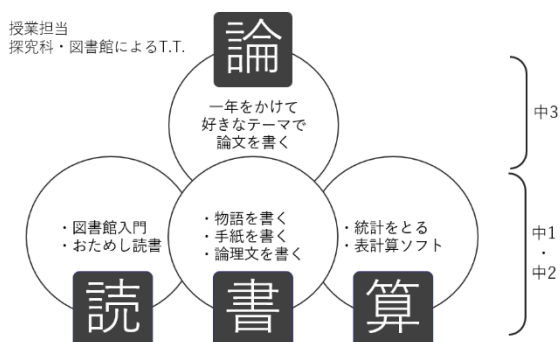


図1 3年間を通じた探究カリキュラム

### 2. 卒業論文 学びの道のり

卒業論文制作では、生徒一人ひとりが研究テーマ(問い)を決める。「自分は何に興味があるのか」「なぜ興味があるのか」といった、自ら研究テーマを設

定するという課題、それ自体からの問いかけを通じて、「自分とはどのような人間なのか」を問われる。そして、設定したテーマに関する文献を調査し、フィールドワークを行い、結論(答え)を導き出す。最終的に1万字を超える研究論文を制作し、他学年を招いて研究発表会を行う。そのような学びの道のりを、多様な蔵書を備えた図書館が支援している。

### 3. アンケート調査の概要

調査対象は下記2グループに分けられる。「在校生」グループには中学3年次に卒業論文を提出し、清教学園高校に在籍している生徒が含まれる(505名、有効回答数456名、悉皆調査、15~18歳)。「卒業生」グループには、中学3年次に卒業論文を提出し、現在は大学進学・就職等している卒業生が含まれる(1985名、有効回答数160名、任意調査、18~28歳)。これには2006年に終了した「連携コース」生(高3次に論文提出・関西学院大学に進学)も含まれる。「在校生」に対しては、学校にてWebアンケートによる全数調査を行った。「卒業生」に対しては、WebアンケートフォームへのURLリンクを記載したハガキを送付し、任意で回答を求めた。

### 4. 調査設計

調査テーマは「自由なテーマ設定による探究学習が、学習者のキャリアデザインに与える長期的影響の調査」とした。設問の観点は大きく2群に分けられる。回答者自身の授業経験を振り返る「授業経験群」【問10~17】と、現在の学習観を問う「学習観群」【問24~32】である。これらへの回答と相関を見て、カリキュラム履修者が現在、「学び」というものをどのように捉えているのかを明らかにした。

その他、カリキュラムを客観的に評価する設問「授業を自身の子どもに勧めるか」や、重要設問には回

答の理由を問う、任意の記述設問を設けた（文末「アンケート項目と観点」参照）。

さらに回答者属性間の比較として、現在高校卒業後のキャリアを考えている「在校生」と、既に進学・就職した「卒業生」の2つの世代間で比較し、卒業論文という取り組みがそれぞれの年代でどのように振り返られるのかを調査した。なお、選択式設問への回答は7件法を用いている。

## 5. 集計結果・分析

### 5-1. 「授業を自身の子どもに勧めるか」

まず注目したのは、殆どが肯定的に回答した【問20】「自身の子どもに授業を勧めるか」(図2)である。

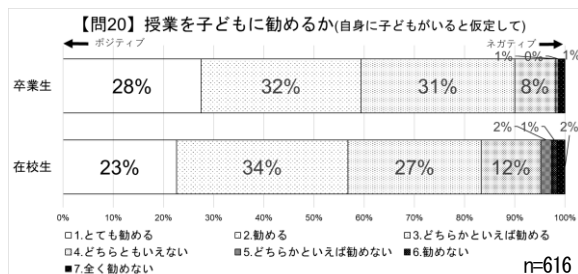


図2 授業を子どもに勧めるか

この質問は、自身の卒業論文の経過や成果にかかわらず、その学習過程が一般的に価値を持つか否かを尋ねた。卒業生・在校生ともに「子どもに勧める」が80%以上となっており、子の親として考える場合、探究学習はその価値が認められていることがわかる。

さらに【問21】では、【問20】の回答理由を自由記述形式で問うた。ここでは【問21】に回答しており、なおかつ【問20】の回答が「どちらかといえば勧める」以上の回答を「ポジティブ」と定義した。また【問21】に回答しており、【問20】の回答が「どちらともいえない」以下の回答を「ネガティブ」と定義した。その上で、【問21】の任意自由記述からキーワードを抜き出し、類型化を行った(図3)。

全体的にポジティブな回答が得られたが、とりわけ回答が集中しているのは「研究経験」に分類された回答(107件)である。履修者がこの授業経験を振り返る時、「自ら学び、新たな知識を生み出し、それを人に伝えるという一連の研究経験」が、授業を子どもに勧めたい最たる理由として挙げられた。

さらに「研究経験」に付随する形で、「テーマ選択」(興味を持っている事を学べる/自分で研究テーマを選ぶ)に類する回答が紐づいており、そこには「自己

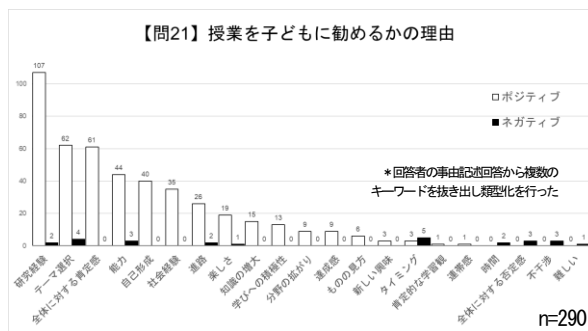


図3 「授業を子どもに勧めるか」の理由

形成」「進路」といったキャリア意識に関するキーワードが含まれていた。このことから、履修者にとっては「自由に研究テーマを選べる」ということに大きな意味があることがわかる。研究テーマを設定するという行為は、学習者が自身を内省することに繋がり、自己形成や進路にも結びつく。このことは以下の自由記述回答にも表れている。

「テストだけでは測りきれない、21世紀を生きるうえでの遅しさを身に着ける教科だと思うから」(高校1年生)「自分の興味があることを掘り下げていくと視野が広がり、学びに対する意欲が湧き出てきたため、とても大切な経験だった」(高校3年生)「『勉強ってやろうと思えば自分の力でできるんだ』ということを学べた。子どもにもそれを体験してもらいたい」(学部4年目以上)「問いを立てて、その答えを自分なりに見つけることができました。その過程は、生きていく上で必要な経験と考えています」(社会人4年目)

### 5-2. 「授業経験群」の回答分析

「授業経験群」と「学習観群」の設問については、在校生、卒業生と回答に大きな差が見られなかったため、両者を合わせた結果を以下分析する(図4)。

授業経験群の設問では、「授業の自己評価」「進路」「成長」の3つの観点からなる設問を設け、授業における履修者自身の経験を問うた(文末「アンケート項目と観点(観点①、②)」参照)。回答者の主観的な自己評価を問うので、何らかの要因で卒業論文の制作が上手くいかなかった者からの回答も含む。しかし全体として、授業経験については概ねポジティブに捉えられていた。とりわけ、研究テーマが自らの興味・関心に根差したものだだったかを問う【問10】では92%が、授業での過ごし方を尋ねる【問11】では88%がポジティブな回答結果となった。



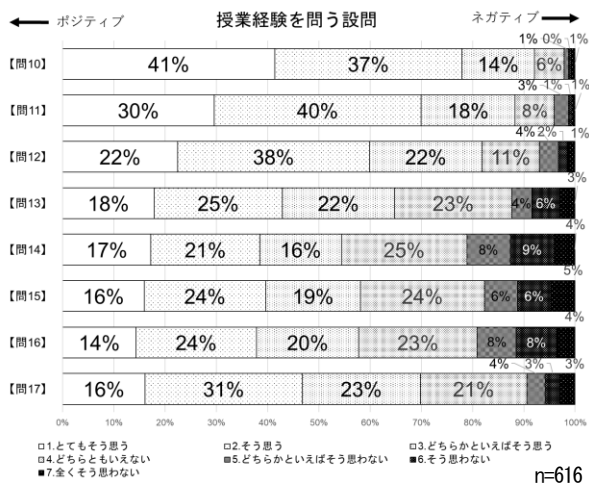


図4 授業経験群 回答

### 5-3. 「学習観群」の回答分析

学習観群の設問では、履修者が現在「学ぶ」という行為をどのように捉えているかを問うた(図5)。そのため卒業生に対しては、高等教育機関での自律的な学びや、社会人としての学び、学校から離れたのちの生涯学習的な観点から、「学ぶ」という行為に対する現在の考え方を問うたことになる。

結果を見ると、総じて学習に関する高い肯定感が示された。たとえば【問24】「自分には学ぶべきことがたくさんある」はポジティブな回答が100%、【問25】「知らないことを学ぶのは楽しい」では97%、【問29】「学んでみたいことがある」では92%であった。このことから、履修者の多くが現在もなお、「学び」に対する高い肯定感を持っていることがわかる。

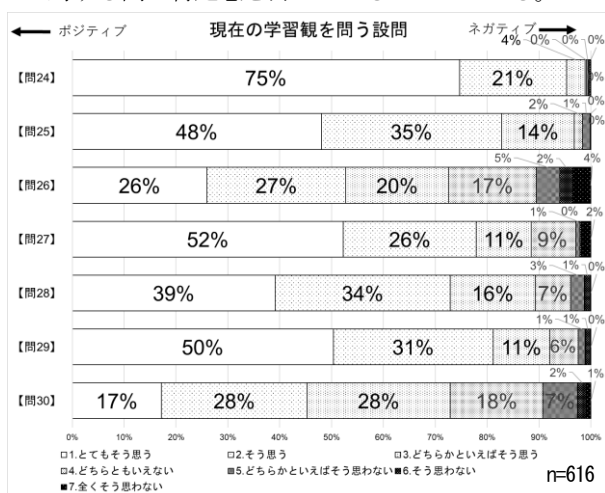


図5 学習観群 回答

また本校の探究学習は、カリキュラム構築と共に図書館と司書という物的・人的インフラ整備にも尽力してきたので、設問【問31】【問32】を用意した。

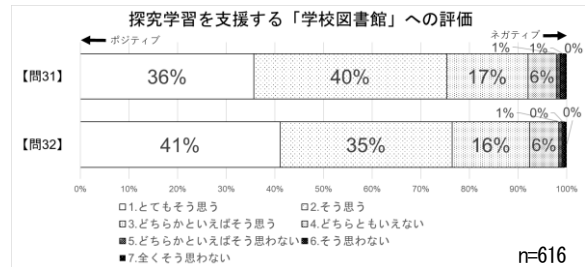


図6 学校図書館・学校司書への評価

探究的な学習における、司書からのサポートやレファレンスの重要性が明らかになった(図6)。授業経験が現在の学習観に与えた影響を問う【問34】の自由記述でも、司書や図書館への言及が目立った。つまり探究学習は、学校図書館と学校司書抜きには語れない事が裏付けられた。以下にその一例を示す。

「自分の疑問や投げかけに対して、その分野の本を紹介してくださったり、丁寧なアドバイスを頂いた。また自分の「知りたい」が見つかる図書館という素晴らしい環境があったからこそ、今になっても卒業研究の経験が濃いものだったと思えるから」(高校3年生)「今の職業柄、日々分からないことや知らないことが溢れていて、そんな中でも毎日進んでいます。忙殺されそうな日々ですが、休みの日には職場の図書室で勉強したり、参考書を開いたり、というのは振り返れば清教のリブライアで過ごした時間が有意義なものだったからだと思います」(社会人2年目)

### 5-4. 「授業経験群 × 学習観群」の相関を見る

さらに授業経験と学習観の相関関係を考察する。ここでは選択式回答の順序に係数を掛け、最大100ポイントの値で換算し数値化を行った。

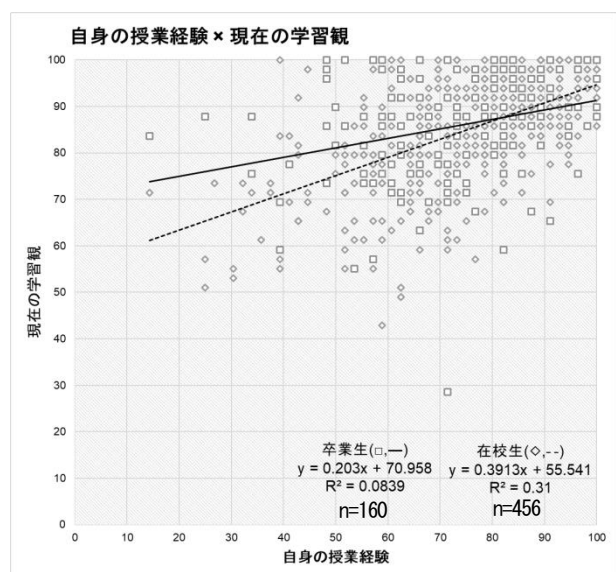


図7 授業経験群 × 学習観群 相関

この結果相関係数は、在校生が0.556(正の相関)、卒業生が0.289(弱い正の相関)となった(図7)。またサンプル数は異なるが、在校生・卒業生ともに似た散らばりを見せており、卒業生への任意調査の妥当性も示された。このことから、在校生においても、探究学習の効果は将来的に継続すると推測された。

事前の予測では、任意調査である卒業生に、より強い相関が出るとしていた。授業への思い入れが強く出ると踏んだからだ。しかし予測に反し、在校生の側に強い相関が出る結果となった。これは、卒業生が学校を卒業し、社会に出て経験を積み、授業経験が相対化された故と推測される。

## 6. まとめ

アンケート調査を行うにあたり、特に重視した設問が【問10】【問20】である。この2問に対する回答がポジティブになるような経験が、のちの学習観を支えるからだ。【問21】の記述からも「研究経験」と「テーマ選択/自己形成/進路」といったキーワードの結びつきが多くみられた。これにより、自由にテーマを設定するという授業設計が、ひいては「自分は何者か」という問いを、学習者に問うていることがわかる。探究学習が学習者にとってよい経験と

なるか否かは、学習者自身が学ぶテーマを探すと、自らを内省する機会の有無にかかっているのだ。

授業者はこれまで、自由なテーマ設定による探究学習が、皮膚感覚において「よい」と信じてきたが、今回のアンケート調査により、それが裏付けられた。探究学習とは、単なる能力の育成にとどまらない、長い射程を持った学習である。学習者自身の芯となる、賜物を育む教育効果が期待される。

## 7. 今後の展望

記述の類型化や、追加インタビュー調査(本稿未掲載)により、キャリアとの関連が深い事が示唆された。今後は質的調査への発展、さらに、本カリキュラムを履修していない学習者グループや、「在校生」「卒業生」の2つの世代間での詳細な比較を行いたい。

## 8. 謝辞

アンケート設問を作るにあたりアドバイスを頂いた家島明彦氏(大阪大学)、田邊則彦氏(ドルトン東京学園)、本研究をまとめるにあたり助言を頂いた溝上慎一氏(桐蔭学園)、及び研究に協力して下さいました在校生と卒業生の皆さまに深く感謝を申し上げます。

設問内容		観点①	観点②	
【問1】	現在の年齢をお答えください	回答者属性		
【問2】	性別をお答えください			
【問3】	卒業もしくは在籍している大学の、学部学科(あれば専攻も)をお書きください。清教学園在校生は志望の学部・学科(あれば専攻も)をお書きください			
【問4】	現在、社会人何年目ですか。大学(院)何年目ですか。大学(学部)何年目ですか。高校何年生ですか。			
【問5】	清教学園高校何期生ですか(トップページ(前ページ)で、期数・担任・研究キーワードを掲載しています)			
【問6】	さしつかえなければお名前をお答えください			
【問7】	自分の研究テーマや研究内容を覚えている			
【問8】	さしつかえなければ、覚えている範囲で研究テーマを教えてください			
【問9】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」で行ったフィールドワークを覚えていますか			
【問10】	研究では興味や関心のあるテーマを学べた			
【問11】	授業では充実した時間を過ごした			授業経験群(主観的評価)
【問12】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」の経験は全体として評価できる	キャリア		
【問13】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」をきっかけに、まわりの人々の生き方や仕事に関心をもつようになった			
【問14】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」をきっかけに、自分の将来や進路を考える資料や人とのよい出会いがあった			
【問15】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」の機会は、自分の将来や進路選択によい影響を与えた			
【問16】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」は自分がどのような人間かを考えるよいきっかけになった			
【問17】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」の経験は自分の人生によい影響を与えている			
【問18】	さしつかえなければ、(問17)のように回答した理由を自由にお書き下さい。(例:志望大学、学部、学科の選択/志望する職業分野など)			
【問19】	自分自身の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」で最も印象に残っていることを教えてください			
【問20】	(自分に子どもがいると仮定して)中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」のような経験を子どもに勧めますか		客観的評価	
【問21】	さしつかえなければ、(問20)のように回答した理由を自由にお書き下さい			
【問22】	大学生以上の方のみお答え下さい。中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」で身につけたスキル(コンピュータ、日本語入力等のスキル)は、いつ頃まで清教生以外の人々と比較して優位に感じていましたか	学習観群		
【問23】	大学生以上の方のみお答え下さい。中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」で身につけたスキル(論文作成等の技術)は、いつ頃まで清教生以外の人々と比較して優位に感じていましたか			
【問24】	自分には学ぶべきことがまだたくさんある			
【問25】	知らないことを学ぶのは楽しい			
【問26】	大学の卒業論文や研究室活動は楽しかった、または楽しんだ			
【問27】	大学での学びは充実していた、または充実させたい			
【問28】	自分で研究テーマを決めるような学びの機会は楽しい			
【問29】	自分には学んでみたいことがある			
【問30】	未知の分野と出会っても、自分で調べて何とかできる			
【問31】	図書館は役に立つ			図書館
【問32】	図書館司書は頼りになる			
【問33】	上記の「学習観」に関する問い(問24-問32)を選択した理由には、中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」の経験が影響していますか			
【問34】	さしつかえなければ、(問33)のように回答した理由を自由にお書き下さい			
【問35】	あなたにとって中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」はどのような経験でしたか。授業の取り組みへのご意見やご感想も含めて、率直にお書き下さい			
【問36】	当時の中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」の授業をより良くするとしたら、どのような提案がありますか			
【問37】	中学「卒業研究」、あるいは卒業論文「タラント」での経験についてインタビュー調査を計画しています。関心のある方・ご協力いただける方は、連絡のとれるメールアドレスをお書きください			

アンケート項目と観点



総合図書館 清教学園リブラリア  
2019 年度事業報告

発行日:2020 年 6 月 17 日

著者:清教学園中・高等学校 図書館教育

印刷・製本:清教キャンパス

連絡先:

〒586-8585 大阪府河内長野市末広町 623

TEL 0721-62-6828

本報告の内容は、すべて学校法人清教学園に属します。  
無断での複写・複製・転載を禁じます。